

熊本市と PR TIMES が地元事業者の PR 支援に向けた 連携協定を締結

- 熊本市内の事業者の情報発信を活発化し、地域の経済活動を全国へ展開するための広報・PR 活動を支援 -



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（所在地：東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は 2025 年 4 月 17 日（木）、熊本県熊本市（市長：大西一史、以下、熊本市）とスタートアップを始めとする熊本市内事業者の情報発信支援と、同市からの経済施策等の発信による産業振興を目的とした連携協定を締結いたしました。PR TIMES が熊本県に本拠を置く機関と連携協定を締結するのは初めてとなります。

本協定で実施する取り組み

- ・熊本市が支援する事業者・団体に「PR TIMES」を無償で利用できるプログラムを提供
- ・熊本市が支援する事業者・団体に、広報 PR・プレスリリース活用のセミナー開催
- ・熊本市による地域情報の発信に際し「PR TIMES」を無償提供

熊本市内のスタートアップ・地場産業の情報発信を支援

熊本市は、熊本発のイノベーション創出を目的とした「Kumamoto City Pitch」や、市内スタートアップ等のプロモーションをおこなうイベント「KUMAMOTO STARTUP NIGHT」等の実施を通じて創業・スタートアップ支援を実施しています。また、2022 年 4 月 1 日にリニューアルオープンした熊本市のビジネス支援施設「XOSS POINT.（クロスポイント）」では、「持続的にイノベーションが生まれる熊本市」の実現に向けたアクセラレーションプログラム等の実施を通して、市内での創業から成長支援、メンター・支援機関（金融機関や大学、研究機関など）を巻き込んだコミュニティ形成による熊本版スタートアップエコシステムを目指しています。さらに、市内中小企業を対象に、後継者の発掘・育成に向けた取り組みとして「[KUMAMOTO アトツギベンチャーDAY2024](#)」も実施。「[熊本市中小企業等 DX アクセラレーション事業](#)」では、デジタル技術を活用し、業務変革等に取り組む市内中小企業等に対して、セミナーやワークショップの開催、専門コンサルタントによるメンタリング、人材育成に係る研修等の伴走支援を実施することにより、企業の生産性向上や新たな価値の創出に取り組んでいます。本協定を通じた情報発信・広報 PR の側面からの支援が、支援対象事業者による新たな取り組みやビジネス創出を加速させることが期待されます。

PR TIMES が運営するプレスリリース配信サービス「PR TIMES」は、2024 年 7 月に利用企業数 10 万社を突破し、スタートアップから大企業、自治体などの行政機関や、個人事業主まで多くの方にご活用をいただいております。「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げる当社は、新しい挑戦に向かって行動するスタートアップへ情報発信の支援を続けており、2015 年から創業間もない企業を対象に設立 2 年経過まで一定条件をクリアすることで、無料で PR TIMES を利用できる「[スタートアップチャレンジ](#)」を提供しています。2024 年には東証グロース市場に新規上場した企業 63 社(*)の内、74.6%にあたる 47 社が「PR TIMES」を利用しています。

(*)テクニカル上場は対象外としています。

PR TIMES の利用企業は東京都に所在している企業が 6 割を超え、関東を中心とした都市部に一極集中する中、徐々に全国各地域からの新規登録を増やしています。地域や企業規模に関わらず、企業が抱えているサービスやソリューションが全国に行き届き、事業拡大に繋がる関係性創出を促進するため、2017 年から全国各地の金融機関やメディア、自治体との無償プログラム提供をはじめとする支援をおこなってきました。直近では、当社公認のプレスリリースエバンジェリストとして、プレスリリースの活用を周りへ広める活動をされている PR パーソンの方々と協力しながら全国各地で広報 PR に関するセミナーの開催を通して、事業者のプレスリリース文化の普及に努めています。熊本市では、2025 年 2 月に「XOSS POINT.」でセミナーを実施し、広報・PR、プレスリリース活用のポイントを解説しました。



2025 年 2 月 熊本市「XOSS POINT.」で実施した広報 PR セミナーの様子／PR TIMES 公認プレスリリースエバンジェリスト 株式会社ふく成 平尾有希氏

そして今回、政令指定都市として九州でも有数の経済拠点であり、政府が進める連携中枢都市圏構想の宣言連携中枢都市でもある熊本市と、市内事業者の情報発信支援を目的とした連携が実現いたしました。

熊本市は、半導体企業を中心とした工業、九州をはじめ全国の台所を支える農林水産業など多様な産業が発展しています。熊本城や阿蘇エリアへのアクセスの良さを生かした観光業も賑わいを見せており、熊本駅周辺には県内最大級の「下通アーケード」があるほか、熊本城にも程近い桜町には商業施設「サクラマチクマモト」が 2019 年に開業しました。県内では受託生産世界トップシェアを誇る半導体企業が熊本県菊陽町に進出し、県内のみならず九州の経済に大きなインパクトを与えています。

今回の提携を契機として、熊本市と当社は協力して市内事業者への PR 支援に取り組み、こうした熊本市内の事業者の情報発信が活発になることを期待しています。事業者支援による地域産業の振興を目標に掲げ、スタートアップや地域の産業を支えてきた中小企業や「アトツギベンチャー」の事業成長に寄与するセミナーイベントの開催や、プレスリリース作成の支援策を講じてまいります。

提供する支援内容

① 熊本市×PR TIMES プログラムの提供

熊本市のスタートアップや地元企業の情報発信を支援するため、対象企業へプレスリリース配信を一定条件下で無償とするプログラム（詳細は下記参照）を提供いたします。本プログラムを活用し、熊本市に拠点を構えるスタートアップや地元企業等がプレスリリースを配信し、ステークホルダーに対して新たな情報接点を創出する支援をおこなってまいります。

内容	「熊本市×PR TIMES プログラム」では、市の紹介を受けた熊本市のスタートアップや地元企業等がプレスリリース配信サービス「PR TIMES」を利用開始日から 6 カ月間、3 件まで無料でご利用いただけます。 ※4 件目以降、または利用開始から 6 カ月経過後の配信は、所定のご利用料金をいただきます。
ご利用いただけるお客様	＜以下の①～④の条件をすべて満たされるお客さま＞ ①法人または法人格を有する企業・団体・任意団体 及び個人事業主 ②過去にプレスリリース配信サービス「PR TIMES」のご利用実績がない企業・団体・個人事業主（広告代理店等を通じたご利用のみの場合は可能） ③PR TIMES の定める審査基準・配信基準を満たす企業・団体・個人事業主及び熊本市より承認を得ている企業・団体・個人事業主 ④熊本市×PR TIMES プログラム専用の所定フォームを通じてお申し込みいただくこと
取扱開始日	2025 年 4 月 17 日（木）
お申込方法	熊本市より展開される申し込みフォームより申請

② 地域事業者への広報 PR・プレスリリース活用に向けたセミナー

PR（Public Relations）の考え方を活かせるのは、広報担当者だけではありません。自社の事業を通して、「誰に何を届けて、どんな行動を起こしてほしい」のか。マーケティングや企画、経営まで、広報・PR を事業に活かせる基本的な考え方から実践的なプレスリリース作成のポイントまでお伝えします。

③ 熊本市の広報 PR 支援

熊本市からプレスリリースを発信する際、「PR TIMES」を無償で提供します。熊本市がおこなっているスタートアップ支援の取り組みや地元企業への支援に関する取り組み、また、熊本市の産業に関すること以外の取り組みにおいても、プレスリリース配信を通じた情報発信をサポートします。支援元となる熊本市自らの情報をプレスリリースによって発信することで、熊本市内事業者の事業支援にもつながることを期待します。

今回の支援に関しても熊本市職員向け研修等をおこない、職員自らの広報 PR に関するノウハウ・スキル向上をともに目指してまいります。

熊本市との連携に寄せて

熊本市 大西 一史 市長

このたび、株式会社 PR TIMES 様と連携協定を締結し、熊本市内のスタートアップをはじめとする中小企業等の広報支援や広報人材等の育成支援について連携していくこととなりました。本協定が、本市の素晴らしい技術や製品、サービスを有する企業の情報発信力の強化につながり、地域企業のブランド力向上や販路開拓等に資するものになることを期待しています。本市としましては、引き続き、ビジネス支援施設「XOSS POINT.」を中心に、起業家や新たな事業に挑戦する事業者同士が繋がるコミュニティの形成、オープンイノベーションの推進などを通じて、新たな産業の創出に向けた取組を推進してまいります。



株式会社 PR TIMES 代表取締役社長 山口 拓己

このたび熊本市様との連携協定を締結する運びとなり、心より感謝申し上げます。熊本市様には、5年以上にわたり PR TIMES をご活用いただいております。これまでのプレスリリースからも、熊本地震を乗り越えて市民の皆様が結束し、地域を盛り上げてこられた歩みをひしひしと感じております。

そのような熊本市様が、起業家や地場企業、若い世代、さらには後継者を力強く支援しながら、イノベーションを起こそうとされている姿勢には深い敬意を覚えます。私たち PR TIMES が、微力ながらもその熱意に寄り添い、お役に立てることを大変うれしく思います。



株式会社 PR TIMES パートナービジネス開発室 高田直幸

熊本市様は、加藤清正公による熊本城築城以来、肥後熊本藩の城下町として、九州における経済・文化の中心地として発展してきました。そして、近年の熊本地震からの“創造的復興”を経て、歴史と伝統を継承しながら、地域から全国にはばたく事業者の創発・支援に取り組んでおられます。この度の連携を契機として、歴史と自然、人の営みがうねりとなって熊本市から全国に届く、そんな未来を想像しています。社会との関係性をその都度捉えなおし、大切な誰かのために行動する。その行動の結晶がプレスリリースであると信じて、事業者様が達成したい未来へ近づくための発信支援に尽力してまいります。



株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は 10 万 8000 社を超え、国内上場企業の 61% 超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただく メディア記者 2 万 7000 人超、サイトアクセス数は 月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は 月間 3 万 9000 件超、累計で 200 万件を超えています。全国紙 WEB サイト等含む パートナーメディア 260 媒体以上にコンテンツを掲載しています（2025 年 2 月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「isuta」「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支える タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」 など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社 グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES （東証プライム 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営
- アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」 (<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>